

日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム  
平成26年度第2回幹事会 議事録

日 時 2014年9月24日（水） 10時05分～11時50分  
場 所 東京理科大学森戸記念館2階第3会議室（東京都新宿区神楽坂4-2-2）  
出 席（敬称略）

代 表：有信睦弘

副 代 表：松瀬貢規、依田照彦

部会主査：廣瀬壮一（部会1）、西方正司（部会2）、松村暢彦（部会3）

幹 事：渥美純一、石村和男、村松俊樹

オブザーバー：大山幸二、吉田孝一、大橋一民、大槻 肇

事 務 局：島田敏男

欠 席（敬称略）

部会主査：佐藤 勲（部会4）

幹 事：青島泰之

オブザーバー：小森和弘、野口宏一

配布資料：

- 000 平成26年度第2回幹事会 議案
- 001 科学技術人材育成コンソーシアム構成表
- 002 平成26年度第1回幹事会（平成26年7月28日）議事録（案）
- 003 コンソーシアム会議メール審議結果報告
- 004 幹事候補者の選出について
- 005 公開シンポジウム実施計画
- 006 各部会報告
  - 部会1（情報共有）
  - 部会2（教育支援）

議事概要

1. 平成26年度第1回幹事会（7月28日）議事録確認  
資料001に基づき、前回会議議事録を確認した。

## 2. コンソーシアム会議メール審議結果報告

資料003をもとに事務局より、コンソーシアム入会が承認されている日本電機工業会の年会費を、正員学協会と同じ3万円とする議案については、全員賛成にて承認されたとの報告があった。また、平成26年度会費は月割りにより17,500円となることが報告された。

## 3. 幹事会候補者の選出

有信代表より資料003をもとに、大山幸二氏及び吉田孝一氏を幹事候補者としていたとの提案があり、検討の結果、これを了承した。

## 4. 平成26年度シンポジウム実施計画の策定

部会3の松村主査より資料005をもとに、第6回科学技術人材育成シンポジウム（案）が説明された。検討の結果、次のようにすることとし、詳細は次回会議で検討することとした。

- ・テーマは「科学コミュニケーションを通じた社会との対話」とする。
- ・基調講演（総論）については、第一候補として大阪大学の小林教授、第二候補として名古屋大学の戸田山教授に打診する。
- ・実態報告については、文部科学省あるいは科学技術振興機構より候補者を模索する。
- ・マスコミ関係は、毎日新聞より候補者を模索する。（担当：科学技術振興機構）
- ・実践例として、どぼくカフェ（土木学会）、キッズエンジニア（自動車技術会）、大学の取り組みなどより選定する。

## 5. 各部会報告

資料006に基づき、部会1 廣瀬主査、部会2 西方主査より活動の進捗状況の報告があり、意見交換を行った。各部会からの報告の概要は以下の通り。

[部会1（情報共有）]

- ・webサイトの掲載内容の見直しと充実を図った。
- ・関連学協会に科学技術人材育成に関する情報提供の依頼を行ない、収集したイベント等の情報をwebに掲載した。

- ・情報の収集・掲載に関して、継続的かつ効率的な運営体制の構築を検討している。

[部会2（教育支援）]

- ・8月27日に開催された電気学会パネルディスカッション「教育現場の求める理科教育支援とは？－初等中等教育への支援のあり方－」について、参加いただいたことへの謝辞が述べられ、内容並びにアンケート結果について報告された。支援を受ける側の意見を直接聞くことができた点などで成果があった。

- ・今後、各地で開催される各学協会の大会等において同様な企画を実施することが望まれるが、これを実現するための検討は今後の課題である。

## 6. その他

### (1) 次回開催について

次回幹事会を11月7日（金）13:00～15:00に開催する。

以上